

科目名	初等生活Ⅰ			担当教員	三島 晃陽	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SRE212
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	教諭（講師を含む）					
実務経験を生かした授業内容	学校現場や行政（人事及び教科等指導）の経験を生かし、小学校低学年の教育課程の「要」としての生活科学習の在り方や教師の具体的な指導・援助の在り方を講義する。					
到達目標及びテーマ	児童の生活を重視した過去の教育、低学年児童の発達特性、昨今の児童を取り巻く生活環境の変化等が分かり、生活科創設の背景や意義さらには生活科が提起する初等教育の授業改革の理念、教育原理等を理解し生活科教育の実践上の課題を討論できる。また、低学年におけるカリキュラム・マネジメントの中核として、現在求められている資質・能力の育成について論ずることができる。					
授業の概要	本講義では、生活科が創設された意義を、児童の生活や体験に重点を置いた過去の教育動向、現在の児童を取り巻く生活環境などから明らかにする。そして、生活科が問題提起する授業改革の理念とその方法的課題、子どもの側に立つ学習活動の組織化と評価の在り方等を学び、今求められている資質・能力の育成を実際の学校現場の授業映像等をもとに追究する。【デジタル技術利用 該当番号③、④】					

授業計画						
第1回	初等生活Ⅰの学び方（オリエンテーション：大学の“学修”） ・学校現場で求められる教師とその役割の重要性 小課題：「学習指導要領とは何か」 テキストP101～P105参照					
第2回	「学習指導要領」の変遷と生活科の創設 小課題：「いわゆる大正の新教育とは何か」					
第3回	生活科前史としての欧米の教育、大正の新教育、戦後のコアカリキュラム 小課題：子どもを取り巻く環境の変化（昔と今）は何か。（特に子どもの遊びについて）					
第4回	子どもを取り巻く環境の変化と子どもの実態、成長への課題 小課題：学習指導要領で求められる「資質・能力」とは何か。テキストP1～P7参照					
第5回	生活科創設の背景と求められる資質・能力 小課題：「生活に必要な（習慣や）技能を意図したおもちゃづくり」（作品）					
第6回	個性重視の教育の始まりと生活科教育 小課題：生活科の学年目標、（基本的な）視点、具体的な視点、学習対象とは何か。テキストP23～P51参照					
第7回	学習指導要領解説(生活編)の読み方① ・教科目標、学年目標、基本的・具体的な視点、学習対象、学習内容 小課題：解説書を読み解く① テキストP8～P22参照					
第8回	学習指導要領解説(生活編)の読み方② ・学年の目標と内容構成の考え方 小課題：解説書を読み解く② テキストP17～P28参照					
第9回	生活科における気付きとその質的な高まり ・気付きとは、また質が高まるとは 小課題：生活科の目標の記述を知る テキストP29～P51参照					
第10回	スタートカリキュラムと小一プロブレムを討論する 小課題：スタートカリキュラムについて自らの考えをまとめる（レポート）					
第11回	幼稚園・保育園と小学校の接続とスタートカリキュラム、カリキュラム・マネジメント 小課題：テキスト熟読しまとめるP126～P138、P52～P67					
第12回	生活科の授業映像を視聴し、評価・討論する① ・授業における教師のアイデアと配慮事項（デジタル機器、ICT端末の活用）小課題：テキストP87～P99を熟読し、自らの生活科学習を振り返る（レポート）					
第13回	生活科の授業映像を視聴し、評価・討論する② ・授業における教師のアイデアと配慮事項（デジタル機器、ICT端末の活用） ・生活科の指導計画と評価 小課題：指導計画作成の配慮事項とは何か テキストP52～P72参照					
第14回	生活科から「総合的な学習の時間」へ ・カリキュラムマネジメントとしての生活科、総合的な学習の時間を考える 小課題：テキストP87～P99を熟読し、自らの生活科学習を振り返る（レポート）					
第15回	これまでに学んだ生活科の学修を振り返り、あなたが考える望ましい生活科授業の具体を考える 小課題：あなたが考える望ましい生活科授業の具体をレポートにまとめる					

事前学修	2時間	各授業の終了時に次時の学習に関わる小課題を提示し、テキスト等をもとにして自分なりに課題について調べ、次時にレポートや作品として提出する。
------	-----	--

事後学修	2時間	授業での配付資料及びテキストをもとにして、授業を復習するとともに本時の授業プリントを完成させ、そのデータファイルを期限までにユニバにアップする。
フィードバックの方法	毎時間の学習ノートと小課題をもとに、一人一人の学び方と取り組み姿勢を評価し、小課題の最適解を講義で紹介する。また、レポートについては個別にコメントし、学びを総合的に評価・指導できるようにする。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		40%	量とわかりやすい記述
上記以外の試験・平常点評価		50%	キーワードを使ったわかりやすいノートの記述
上記以外の試験・平常点評価		10%	工夫点が明確な作品制作
定期試験		0%	
補足事項	コロナ等の感染状況を考え、オンライン授業にも対応できるように、事前にノート（資料を含む）をPDFファイルでユニバにアップしておきます。対面授業が基本であり、ノートはその都度授業で配布します。 毎回、授業後に各自でノートを整理し、携帯カメラでノートの表と裏を別々に撮影し（jpegファイル）、期日までにユニバにアップしてください。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
小学校学習指導要領解説（生活編）	文部科学省	東洋館出版	978-4-491-0364-5	c-3037
参考資料				

科目名	初等生活Ⅱ			担当教員	三島 晃陽	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED2SRE213
期待される学修成果	基礎教養、子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク					
実務経験	教諭 複数の専門学芸員と共に実施					
実務経験を生かした授業内容	前半は、生活科の教材開発について演習を行い、自然に触れながらのフィールドワークを通して、教材開発や具体的な指導の在り方、引率の仕方等について学習する。					
到達目標及びテーマ	「関市の百年公園」の山歩きなどの野外体験学習を通して、身の回りの草木等を観察し、教師自らの自然の見方や考え方を養い、生活科、総合的な学習の時間における子供たちへの具体的な指導内容及び安全指導・援助の仕方等を身につける。					
授業の概要	羽島キャンパス内（１回目～６回目及び１５回目）での生活科における教材開発、岐阜県百年公園（７回目～１４回目）での自然体験学習を通して、望ましい自然に対する見方・考え方を学び、自然素材を活用した遊びやゲームを体験、作成する。 １． 集中講義（８回分）を行うため、１１月５日（木）が最終講義となります。 ２． 集中講義１０月３１日(土)、１１月１日(日)は日帰りで、岐阜県関市の百年公園（岐阜県博物館）がメインの楽しい野外体験学習です。 ３． 教師は小・中学校共に様々な自然体験学習を指導する機会があります。そこでの安全指導（命を守る指導）ができるようにします。 ４． ２～４年生（３年は実習中でも参加可能な日程）です。 【デジタル技術利用 該当番号③、④】					

授業計画	
第1回	① 授業計画（オリエンテーション）、シラバス説明、学習指導要領における自然体験の重要性について学ぶ。
第2回	② 自然素材を活用した遊びやゲームを通して生活科における教材開発の仕方について学ぶ。①
第3回	③ 自然素材を活用した遊びやゲームを通して生活科における教材開発の仕方について学ぶ。②
第4回	④ 関の百年公園での学習について、及び草木の携帯での写真撮影やデータ処理の仕方について学ぶ。「紅葉の仕組み（やや学問的な内容）」を子どもにも分かるように説明しよう。①
第5回	⑤ 関の百年公園での学習について、及び草木の携帯での写真撮影やデータ処理の仕方について学ぶ。「紅葉の仕組み（やや学問的な内容）」を子どもにも分かるように説明しよう。②
第6回	⑥ 関の百年公園での学習について、児童を引率する際における安全指導と観察計画の立案を行う。
第7回	集中講義⑦⑧⑨⑩回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影 及び、「自然を活用した遊び」で子どもへの自然の関わり方を学ぶ。
第8回	集中講義⑦⑧⑨⑩回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影 及び、「自然を活用した遊び」で子どもへの自然の関わり方を学ぶ。
第9回	集中講義⑦⑧⑨⑩回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影 及び、「自然を活用した遊び」で子どもへの自然の関わり方を学ぶ。
第10回	集中講義⑦⑧⑨⑩回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影 及び、「自然を活用した遊び」で子どもへの自然の関わり方を学ぶ。
第11回	集中講義⑪⑫⑬⑭回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影。特に、自然を活用した遊び（いきものビンゴ）を体験し、子供への具体的な対応の仕方を学ぶ。
第12回	集中講義⑪⑫⑬⑭回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影。特に、自然を活用した遊び（いきものビンゴ）を体験し、子供への具体的な対応の仕方を学ぶ。
第13回	集中講義⑪⑫⑬⑭回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影。特に、自然を活用した遊び（いきものビンゴ）を体験し、子供への具体的な対応の仕方を学ぶ。

第14回	集中講義⑪⑫⑬14回目 【岐阜県関市の百年公園内（岐阜県博物館：研修室）】 自然体験（山歩き、山の見方、草木の見方）と学芸員を中心とした説明、携帯により草木等の写真撮影。特に、自然を活用した遊び（いきものビンゴ）を体験し、子供への具体的な対応の仕方を学ぶ。
第15回	⑮ 野外体験学習でそれぞれが撮影した草木のデータをもとにして、教材開発の方法についてまとめる。

事前学修	0.5時間	・ 野外観察までに講義内容を再確認（どんぐりの見分け方、紅葉の仕組み等）し観察実習に備える。
事後学修	0.5時間	・ フィールドワークでの体験を通して新たな気づきや発見について整理分析を行う。
フィードバックの方法	・ 草木の不思議さ（自分で見つけたとっておきのお話）を交流し合う。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		50%	教材開発について
上記以外の試験・平常点評価		50%	野外体験学習
定期試験		0%	
補足事項	10月31日（土）、11月1日（日）に、岐阜県関市の百年公園内でのフィールドワークを行いますので、この日に必ず参加できるようにしてください。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	昨年度作成の草木図鑑等、全てこちらで準備する。			